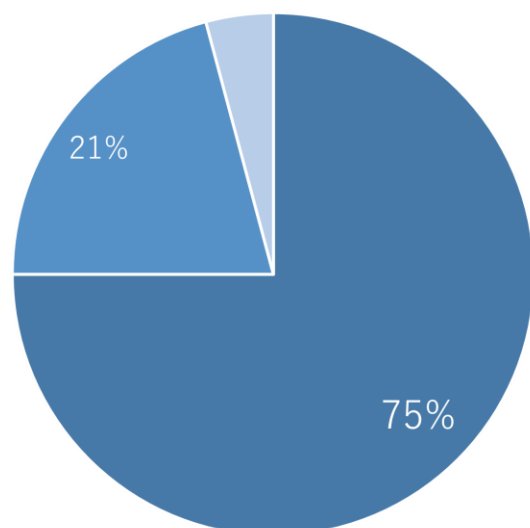


第二回評議員会・研修会③ アンケート結果

アンケート回答人数：24人

映像や音声について



■ 問題なく視聴することができた（18票）

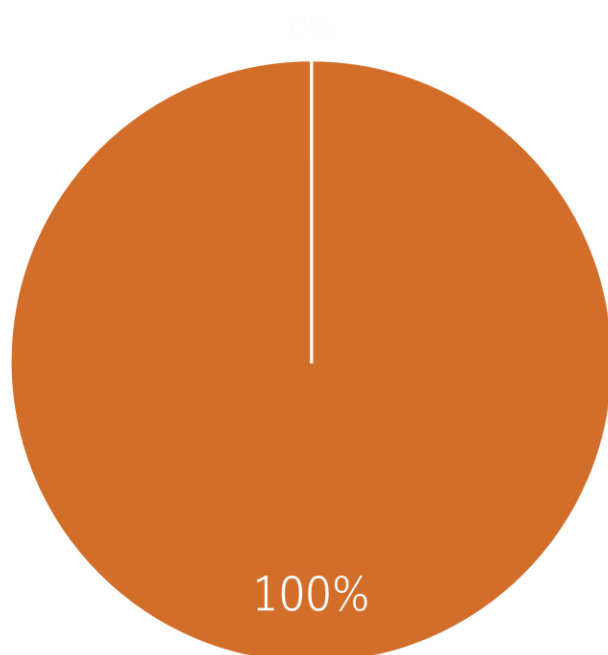
■ 一部、視聴しづらいときがあった（5票）

■ 全く視聴できなかった（0票）

■ その他（1票）

・一部、音声中断がありましたが事務局が説明して下さったので支障なく改善を待つことができました。

議決の方法について



■ 今回の方法で良い（24票）

■ その他（0票）

沖特研の運営について(一部質問には回答)

- いつも素晴らしい運営ありがとうございます。
- 多忙な中での運営の企画、実施お疲れ様でした。ありがとうございます。
- 特になし
- おつかれさまでした。
- webでの評議員会・研修は、移動がなく自分の執務室で集中しながら視聴できるので良い方法だと思います。参集の必要性が少ない会議・研修等については、今後ともwebでお願いしたいです。今回の運営も良かったです。お疲れ様でした。
- 沖特研の準備運営お疲れ様でした。次年度は名護が自立活動の発表！頑張ります。
- 事務局の先生方ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。
- 企画運営、準備等ありがとうございました。大変かと思いますが、今後ともよろしくお願いいたします。
- 提案通りで宜しく申し上げます。12月の参集型の場合、過密校の御校において可能なのか心配しております。乗り合いでの参加できるよう調整したいと思います。

〈質問等〉

- 沖特研研究大会当日の駐車場案内が無かったことについて気になりました。公共交通機関利用や乗り合わせの推奨、指定車両のみの駐車などいろいろと考えられると思いますが、持続可能な大会運営を軸に告知していただけると良いかなと思いました。

《回答》

ご指摘ありがとうございます。研究大会ポスターにて「駐車場台数に限りがあります。できるだけ公共交通機関をご利用ください。」と周知案内を行っていましたが、次回の分科会関係者会・研修会④にて口頭で告知したいと思います。

- 事務局の音声のエコーがかかっていました。聞きづらかったので、改善をしていただければと思います。

《回答》

今回の評議員会にて音声の不具合があり、大変申し訳ございませんでした。

機器の設定ミスもしくは不具合によるものだと考えられますので、次回以降改善していきます。

- 九特連への派遣費用について特別支援学校は各所属対応とありますが、名護特支から専門性向上事業で申請するということでしょうか。

《回答》

個別に回答しております。

研修会③の平均評価 : 4.57 / 5

研修会③について(講師への感想等)

PECSについて動画付きの説明でとてもわかりやすく勉強になりました。特別支援学校の教育現場で日々感じるのは、児童生徒の自己肯定感の低さや失敗することへの不安感など、療育段階から自分の意思表示ができず周りの大人から否定的な関わりを積み重ねてきたのだと感じることがあります。今日のお話からもまずは、児童生徒の好きな物や好きなことを見つける事から自発的な表出を増やしていくことと身近にいる大人が要求を受け入れることでとても強化されると感じました。この視点を大切に教育実践に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。

子ども達に対する配慮や支援のあり方について理解を深めることができました。貴重なご講話をいただきありがとうございました。

PECSのステージや、プロンプト待ちの児童・生徒を、どう主体的に行動できるようになるか、動画をもとに拝聴させて頂き、大変勉強になりました。専門高校の生徒が、本校には在籍していますが、何か指導のヒントなりそうだなと考えながら拝聴していました。御講話ありがとうございました。

ペクスの技法はとても参考になりました。選択肢に「どれでもない」と入れること、他にも各フェイズの流れも勉強になりました。ありがとうございました。

・コミュニケーション支援の大切さを再確認しました。拡大代替コミュニケーション手段の保障に取り組みたいです。

PECS®(ペクス)の使い方がとてもよく分かり参考になりました。ありがとうございました。

視覚的支援の重要性を改めて実感しました。ソーシャルスキルアルバムや「選ぶメモ」「お話しメモ」は、場面緘黙の児童が安心して意思を伝える手段として有効であり、個別に応じた工夫が必要だと感じました。PECSの6フェイズを通して、段階的にコミュニケーション力を育てるプロセスも理解でき、支援の継続性と環境調整の大切さを学ぶことができました。

自閉傾向の強い児童生徒への対応について、学びが深まりました。ありがとうございました。

PECSの内容を講話を通して聞く機会があり、大変良かったです。わかりやすく資料、ご説明だけでなく、動画による変容を見ることで重度障害のあるお子さんの他害行為や誤学習の未然防止につながる点やその効果について勉強になりました。

指導する側の「教え方の欠点」や「6つのフェイズ」、「建設的対応に基づく合理的配慮の1つとしての保障をすることの意義」等についても学ぶことができ、改めて手元の資料を見直す機会にも繋がりました。「建設的対話」という言葉もキーワードの1つになりました。

心より感謝申し上げます。

とても参考になる内容でした。ありがとうございました。

研修会③について(講師への質問・講師からの回答)

Q1 何歳からでも効果が出るか？聞いてみたいです。

《回答1》年齢不問です。1歳になっていたら取り組みます。

Q2 PECSについて、自閉症児のコミュニケーション支援の最適な方法だと感じたが、学校で取り組むとなると、1名の児童に2名の教師で対応することになる。授業時間に取り組むことがなかなか難しいと感じた。自立活動の時間に取り組んでいきたいが、他の児童の待ち時間が増えてしまいそうだと感じた。何か学校で取り組めるようないいアイデアがあれば教えて欲しいです。

《回答2》絶対に2名必要なのは、フェイズⅠだけです。フェイズⅠを早く習得させれば、その後は一人でできます。フェイズⅠを初日の10分から20分で習得させるには、コミュニケーション・パートナーの即時強化とプロンプターのプロンプトのタイミングとフェイディング（やめていくこと）のスキルが重要です。見様見真似ではできません。

校長先生や教頭先生に協力してもらう手もあるのでは？

毎日毎日、一日中、2人いないといけないのではありません。

実際にうまくやるためには、少なくともPECSワークショップレベルⅠは受講し、マニュアルを熟読することが必要です。

Q3 本日はお忙しい中ありがとうございました。パワーカードは作成して使用してもよろしいのでしょうか？

《回答3》どんどん使ってください。できれば本も読んでください。